

令和 8 年度 研究推進計画

東温市立北吉井小学校

1 教育目標

元気で 一生懸命な やさしい 北吉井っ子の育成

2 研究主題 問いを持ち、「なかま」と学びを深め、未来を拓く児童の育成

－学びの質を高める授業実践と、支え合う場づくりを通して－

3 主題設定の理由

変化の激しい社会において、子供たちが幸せに生きるためには、多様な価値観を認め合い、協働して課題を解決する力が不可欠である。他者を尊重し、対話を通して新しい価値を創り出す経験は、未来を生き抜く確かな糧となる。中予地区人権・同和教育研究協議会の研究指定を受けたことを誰もが安心して自分らしくいられる学校を見詰め直す好機と捉えたい。ふるさと北吉井の豊かな地域社会と連携し、身近な課題を自分事として捉えるプロセスを通じて、一人一人が良さを発揮し、思いを持って自らの人生を切り拓く「自己実現」の力を育んでいく。こうした個々の成長を支えることこそが、学校教育の果たすべき大切な役割である。

昨年度は「問い」を軸とした授業構成や、実生活に即した課題設定を推進した。その結果、各教科で学習内容と生活の結び付きが強まり、児童の学習意欲や解決の見通しを持って取り組む姿が向上した。また「いわがらタイム」の継続により、仲間に相談できる安心感が醸成され、対話の土台づくりにおいて成果を得た。

一方で、「何を解決すべきか」や「自分は どうしたいか」という学習課題を自ら見いだすことが苦手な児童への支援や、表面的な調べ学習にとどまらない「学びの質」をいかに高めるかが課題となっている。対話においても、単なる意見の出し合いで終わり、考えを練り上げる場面が不足している。さらに、振り返りにおいて学びを構造化したり、自分の考えの変容を自覚させたりする指導も十分とはいえない。こうした「一人一人の考えを広げ、深める学び」を確かなものにするためには、児童が自らの学びの過程を自覚し、学習を調整していける手立てを工夫することが大切である。また、互いの多様な学び方を認め合い、対話の質を高める工夫と互いを支え合う場づくりを、授業改善と一体のものとして充実させていくことが重要であると考えます。

本年度は、「児童が自ら問いを持ち、主体的に課題を捉える」姿を大切に、子供たちが自分のペースで学びを進める「自律的な学び（調整）」と、仲間と共に考えを深める「協働的な学び（対話）」のつながりを深めていきたい。具体的には、児童が主体的に学びに向かうための教師の働き掛けを工夫し、子供たちが解決への見通しを持って、自分に合った学び方を自ら選べるような場を整える。その上で、共に考えを練り上げる「なかまとの対話」を充実させていく。学びの終末では、自分の考えの変容を自覚するとともに、「もっと知りたい」「次はこうしたい」という新たな課題が生まれる振り返りを工夫する。また、異年齢集団での活動や地域連携を通した豊かな「なかまづくり」を推進する。その際、人権感覚の高い児童の育成に努め、互いを尊重し合う支持的風土を醸成することで、自ら問いを持ち、仲間と共に未来を切り拓く児童の育成を目指し、研究主題に迫っていききたい。

4 研究の目標

「主体的・対話的で深い学び」の一体的充実に向けた授業改善や、地域・家庭との連携・協働の推進を通して、自他の思いを尊重し、社会や他者と関わりながら、主体的に学びを調整し、自己の考えを広げ深める児童を育成する。

5 研究の仮説

- (1) 互いの思いを尊重しながら、問いを自分事として捉え、対話による練り上げや学びを調整する場、変容を自覚する振り返り活動を充実させれば、主体的に学び、考えを広げ深めようとする児童が育つであろう。
- (2) 多様な他者との関わりの中で、学びを社会へとつなげたり、一人一人の良さを認め合う「なかま」づくりや支え合う場づくりを推進したりすることで、居心地の良い集団の中で自他を大切にできる心が育ち、主体的・協働的に課題を解決しようとする児童が育つであろう。

6 研究の内容

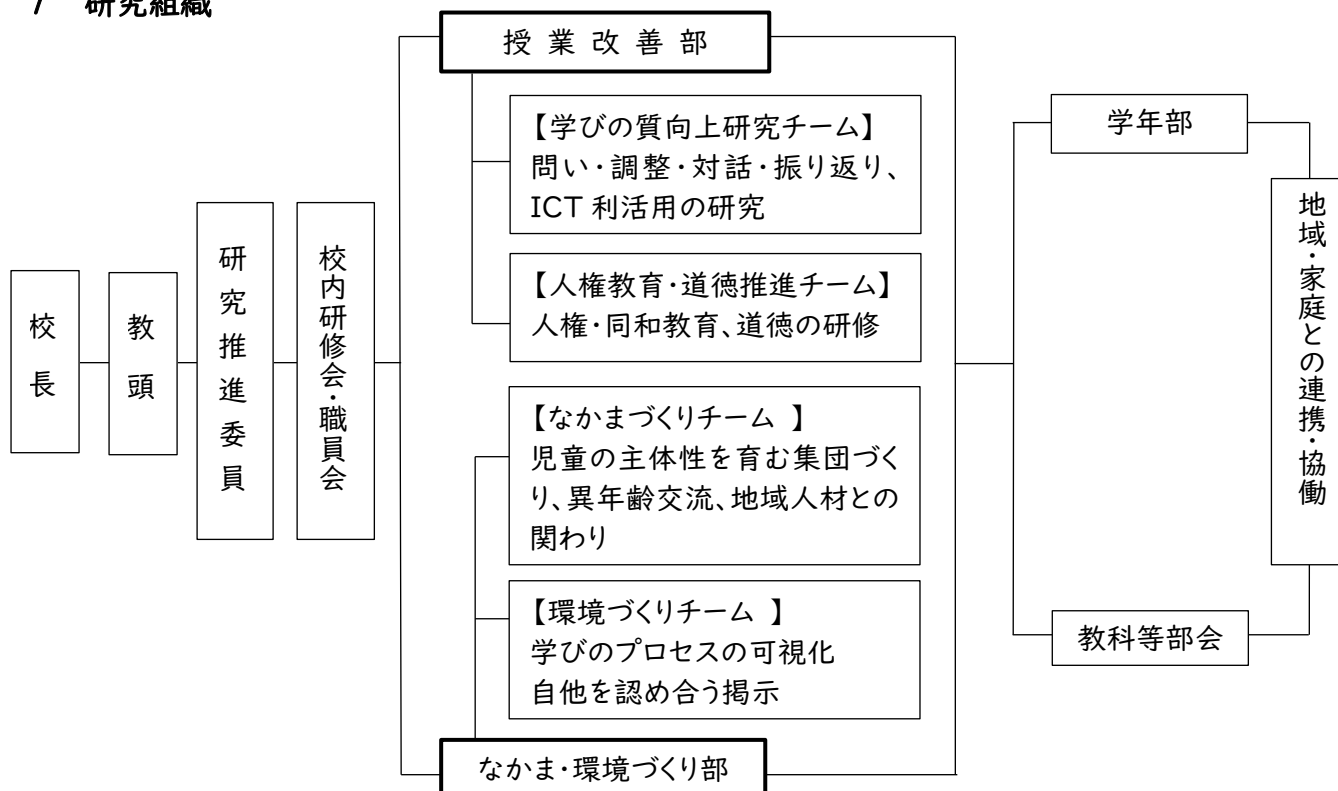
(1) 主体的・対話的で深い学びに向かうための授業改善（授業改善部）

- 「問い」を自分事として捉え、自ら学び方を工夫し、追究し続ける力を育む指導の工夫
- 自他を大切にし、自己の考えを広げ深める対話的な学びの場の工夫
- 自己の変容を自覚し、深い学びへとつなげる振り返りの工夫
- 人権感覚を高めるための教職員研修の充実

(2) 社会や他者と関わり、自他を大切にできる支え合う場づくり（なかま・環境づくり部）

- 児童の主体性を育む「なかま」づくりの推進（異年齢集団、児童会活動）
- 地域の教材・人材を活用し、学びを社会へとつなげる地域・家庭との連携・協働
- 学びのプロセスを共有し、自他の良さを認め合う環境づくり

7 研究組織



8 授業構想図

